

第2回エリア懇談会を開催しました。

第2回エリア懇談会では、第1回エリア懇談会で出された意見を元に、ディスカッションテーマを設定し、それぞれの地域資源や課題、取組などについて、意見交換を行いました。

開催概要

日 時： 平成26年11月4日（火）18時30分から20時
場 所： 家庭センター 第2講習室
出席者： 石原三～四丁目町会、亀沢一・三・四丁目町会、石原二丁目商店会、
北斎通り商店会、北斎通りまちづくりの会 計12名
事務局： 墨田区都市計画課、観光課 計6名

北斎通りの暮らしと賑わいを魅せる テーマに関する意見

暮らしと賑わいのイメージについて

- ・ すみだ北斎美術館が出来ることにより観光客が増加すると考えられる。
- ・ 北斎通りは、主に観光客が散策する通りになるのではないかな。
- ・ 北斎通りから地域内に賑わいが浸透するイメージとしたい。
- ・ 樹木が繁茂しすぎて、全体的にやや暗いイメージがする。

賑わいのしかけづくり

- ・ 北斎通りには、新しい店舗もできている。賑わいができ、さらに新しい店舗等がオープンする通りになるとよい。
- ・ マンションのエントランス周辺を、まちかどギャラリーやポケットスペースなどとして活用できるとよいのではないかな。

賑わいづくりの環境整備

- ・ 何かできることからスタートすることが大切である。
- ・ トイレなど、観光客が来ることを見越して整備をしていくとよいのではないかな。

■ 南割下水、やっちゃば、津軽家上屋敷跡、 地域の記憶を掘り起こす テーマに関する意見

■ ものづくり・産業の歴史を伝えたい

- ・ 現在も地区には工場があるが、産業とマンションの多い地域が両立するとよい。
- ・ ものづくりの歴史や工場であることを伝えるプレートなどがあるとよいのではないか。

■ 水辺のイメージ・大横川親水公園を活用したい

- ・ 北斎通りは旧南割下水だが、北斎通りで水辺をイメージさせるのは難しいのではないかな。
- ・ 大横川親水公園で水辺をイメージできるようにした方がよいのではないかな。
- ・ 大横川親水公園を活用して、もっと地域住民が参加できるイベントをしていきたい。
- ・ 大横川親水公園に架かる橋の名前には由来がある。こうしたものを紹介していけるとよい。

■ 地域資源の共有とまち歩き

- ・ 震災の歴史もある。そういったものが地域の魅力につながるのか、まだ答えはでない。
- ・ C エリア全体でまちの資源について話したのは初めてのこと。互いに思う地域資源を確認できた。多くの地域資源を確認する意味でもまち歩きをした方がよい。

■ その他の意見

■ 蔵前橋通りについて

- ・ 蔵前橋通りの商店街は、観光客よりは地域住民を対象にした商店が多い。
- ・ 歩道幅員が狭いことが課題である。

■ 格子状の区割りを活かした街並み形成

- ・ 格子状の区割りの特徴を活かして緑の続く景観をつくり出せるのではないかな。
- ・ 一方通行の広い通りについて、将来的に歩道をひろげることも必要ではないかな。